令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No.09-023

PDCA	事務事業名	放置自転車等対策事業	部課等名	総務部 防災交通課 交通 防犯担当	担当	中村	
					内線等	286	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第2節 都市基盤の整備 基本施策： 3. 交通体系 単位施策： (3) 駐車場・駐輪場の整備 個別施策： ②駐輪場の整備					
	根拠法令等	半田市放置自転車等防止条例					
	対象・目的	この事業は、市営自転車等駐輪場を適正に維持・管理することであるが、放置自転車の処理台数を事業の成果に関連づけることが困難であるため、文章にて表記する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 市営自転車等駐輪場内の放置自転車等の巡視、警告、移動、保管、引越し、周辺の清掃等 市内各駅周辺の自転車等放置禁止・抑制区域の放置自転車等の巡視、警告、移動 関係機関へ放置自転車等の所有者照会及び所有者への引渡し通知 市営自転車等駐輪場の適正な維持・管理 駅駐輪場利用者への啓発活動の実施 					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①放置自転車等撤去の処分台数	396	376	391	台	
		②盗難自転車等引き渡し件数	14	12	15	件	
		③放置自転車等所有者への引き渡し件数	54	53	46	件	
		事業費	11,447	11,479	12,610	千円	
		人件費	2,134	2,807	1,780	千円	
	総事業費	13,581	14,286	14,390	千円		
	活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
	①放置自転車等対策業務にかかる1か月あたりのコスト	1,132	1,191	1,200	千円		
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
①駐輪場に長期間放置された自転車の処理台数		実績値	464	441	452	台	
		目標値	600	485	440		
		実績値					
		目標値					
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B					
		市営駐輪場の清掃や巡視、撤去勧告等を行い、放置自転車として452台処理するなど、駐輪場の適切な管理に努めることができた。 また、継続的課題となっている駐輪場内での自転車盗難被害防止のため、ナッジ理論を活用した啓発看板を設置し、駐輪場利用者の施錠意識向上を図った。					
		現状維持					
市営駐輪場の清掃や巡視、撤去勧告等を行い、放置自転車として452台処理するなど、駐輪場の適切な管理に努めることができた。 また、継続的課題となっている駐輪場内での自転車盗難被害防止のため、ナッジ理論を活用した啓発看板を設置し、駐輪場利用者の施錠意識向上を図った。							
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持					
		既存の各市営駐輪場において、引き続き自転車の整理や空きスペースへの誘導を行い、利用しやすい環境を整える。また、一定期間以上放置されている自転車への警告札貼付けを徹底し、放置自転車の適切な処理を行う。					
	令和3年度の目標	成果指標				目標値	単位
		①駐輪場に長期間放置された自転車の処理台数				440	台